

第 59 号

ふれあい

一関市室根市民センターだより



【室根市民センター】
竹灯り 雪景色を彩る

室根こども園



こまどり保育園

室根市民センターでは、新型コロナウイルスなどで次々と行事が中止となる中、少しでも明るい気持ちになれるようにと職員が制作していた竹灯りが完成し、それらの作品を室根こども園とこまどり保育園に展示しました。

この竹灯りは、お正月の門松で使用された竹や地域から提供された竹を使い、日本の古典柄や動物などの図案をもとにドリルで穴をあけ、中にLEDライトを入れて図柄を中から照らすように制作しました。

2月10日(木)には当日限定でライトアップを行い、日暮れの中、大小の竹が並んで様々な模様が照らしたされる幻想的な様子に、子ども達や見物していた人達からは歓声があがり、竹灯りの前で楽しそうに記念写真を撮る姿が見られました。

竹灯りは、それぞれの園で2月末まで展示いたします。

今回展示された竹灯り(※LEDライトは含まれません)が欲しいという場合には、展示終了後に一部お譲りします。室根市民センター(☎:04-2347)までご相談ください。

【青年ふれあい塾】 エコキャップ活動で 世界の子どもにワクチンを!

室根市民センター「青年ふれあい塾」では、「エコキャップ活動」としてペットボトルキャップを回収し、世界の子供たちへワクチンとして届ける活動を行っています。

令和3年11月24日(水)地域の皆さんにご協力いただき集まったペットボトルキャップを回収業者へ運搬しました。

今回、約1年半の期間で集まったペットボトルキャップの総量は14万9千210個(347kg)となりました。800個11人分のワクチンとなりますので、今回運搬したエコキャップでは約187人分のワクチンとなります。

青年ふれあい塾では、エコキャップ活動をこれからも継続してまいります。

地域の皆様には引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

無駄なく回収できるよう、ペットボトルキャップの汚れや不要物の混入などにご注意ください!



【13区女性学級】 楽しく学ぶ! ハーバリウム教室

13区女性学級では、1月24日(月)第7集会所を会場として「ハーバリウム教室」を開催しました。「花と泉の公園」職員が講師となり、当日は6名が参加してハーバリウムの作り方を教わりました。参加者の中には花が好きの人が多く、ビンの中に入れる花を準備する際には目を輝かせ、楽しそうに選ぶ姿が見られました。

また、細いビンの中に花を入れるため、ピンセットでの作業に悪戦苦闘していましたが、講師に作り方のコツなどを聞きながら完成させていました。新型コロナウイルス感染予防に注意しながらの開催となりましたが、ハーバリウム作りに没頭できた楽しい時間となりました。

【室根市民センター】 春を呼ぶ ひな飾り

室根市民センターでは、3月の桃の節句に合わせて、地域の皆さんより寄付していただいた雛人形を展示しています。

5段飾りや7段飾り、オルゴール付きのものなど、50体を超える様々な衣装の雛人形が飾られ、室根市民センターのロビーが、ひと足早く春の華やかな雰囲気となっています。お近くをお通りの際はぜひ、ご覧になってみてください。



行事予定 ※26日～翌月25日までの予定を掲載しています
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定の行事が変更・中止となることがございます。

月 日	行事内容	場 所	時 間
3月 12(土)	室根地域まちづくり推進大会	室根保健センター	14:00~15:30

編集/発行：一関市室根市民センター
〒029-1201
岩手県一関市室根町折壁字大里 201-1
TEL. 0191-64-2347
FAX. 0191-64-3044
E-mail : mmachikyo-kt@tiara.ocn.ne.jp

【編集後記】
2月10日に展示した竹灯り、全部で大小合わせて30本余りあります。ドリルの太さを変えて光がグラデーションになるように穴を開けたり、細かい穴で柄の輪郭がハッキリ出るようにしたりとさまざまな工夫をしています。ライトアップでは全部の柄が一斉に照らされ、見ていたたくさんの方に喜んでいただけました。県内での新型コロナウイルス感染状況もまだ落ち着かず、なかなか行事も企画できずにいますが、体調の変化や感染対策などに十分注意しながら、気持ちを明るくできることを見つけれたらいいと思います。(T.K)

文芸コンクール 受賞作品発表!

「ふれあい」文芸コーナーでは、投稿作品(令和2年10月〜令和3年9月)の中から各選者による選考のもと、優秀作品を決定いたしました。
今回受賞されました皆さんには、賞状と記念品をお贈りいたします。
おめでとうございます!

俳句 村上 群青 選

- 【優秀賞】 大漁旗港を渡る春の風 矢越 加藤 光春 (令和3年4月投稿)
- 【優良賞】 震災句詠みて十年梅ふふむ 折壁 佐藤 川古 (令和3年3月投稿)
- 【優良賞】 万緑や食み入る駒の細き脚 折壁 小山 一扇 (令和3年5月投稿)
- 【佳作】 長閑なる日和も在りて薯を蒔く 津谷川 三浦 安幸 (令和3年3月投稿)
- 【佳作】 蝸の鳴き初めなり靴を脱ぐ 折壁 雷 風 (令和3年7月投稿)
- 【佳作】 カサカサと冬が近づく音がする 折壁 千 山 (令和2年11月投稿)
- 【佳作】 初夏の午後啄木歌集詠み学ぶ 折壁 小山 すす (令和3年6月投稿)

短歌 佐藤 知男 選

- 【優秀賞】 八重桜咲き匂えども園庭に 津谷川 小野寺 向子 (令和3年5月投稿)
- 【優良賞】 冬ばれの温き陽差しに雪解けの 流れ眩しく春を呼びおり 小山 富子 (令和3年2月投稿)
- 【優良賞】 澄み渡り静寂の里の明けの空 牙え冴えとして下弦の月あり 津谷川 三浦 安幸
- 【佳作】 白鳥はいづこで餌を摂りたるや 田圃は一面雪に覆われ 折壁 雷 風 (令和3年1月投稿)
- 【佳作】 稲架がけの稲穂連なる清水棚田 稔り喜ぶ虫の音響く 津谷川 大森 清水子 (令和3年9月投稿)
- 【佳作】 嫁に来て舅に使え今はただ 嫁に気づかう八十年代 矢越 加藤 光春 (令和3年6月投稿)

川柳 内田 正好 選

- 【優秀賞】 シヤボン玉目指せお空のグライダー 折壁 昭和 小葉 (令和3年9月投稿)
- 【優良賞】 九十歳長生きしたのでひ孫抱く 矢越 小野寺 喜三郎 (令和3年7月投稿)
- 【優良賞】 戦争を許すべからず声を出そ 矢越 加藤 光春 (令和2年11月投稿)
- 【優良賞】 初霜にびっくりうなだれ寒椿 折壁 ゆつきー (令和2年12月投稿)
- 【佳作】 喜寿を過ぎ鉞を持つ手が震えてる 矢越 尾山 与太郎 (令和2年10月投稿)
- 【佳作】 我が人生百迄試練卒寿坂 津谷川 三浦 安幸 (令和3年4月投稿)

今回受賞となりました作品について、各選者による講評付きで冊子にしたものを市民センター窓口にてご用意しています。また、3月中旬以降には市民センター内にも受賞作を掲示いたしますので、ご来館の際にはぜひチェックしてみてください。皆様からの新たな投稿もお待ちしております!

文芸(短歌・俳句・川柳)

12月26日〜1月25日 投句

川柳 内田 正好 選

新たななる夢ふくらませお正月

- 津谷川 三浦 安幸
- 孫が来たかけっこしようじじばてる
- レストラン注文の仕方孫に聞く
- スーパーで割引を待つ列にいる。
- 矢越 尾山 与太郎

冬道はスリッパ注意気をつけて
雪掻きは冬の運動頑張るぞ
こんな日はやっぱりお鍋あったかい

- 折壁 昭和 小葉
- 薬漬け俺の一生闘病だ
- 年寄りの苦労話は為になる
- 母の愚痴聴く耳持とう親子なら
- 矢越 加藤 光春

朝夕の通りのらかな今年冬
朝の道チェーンのいらぬらかな道

- 矢越 小野寺 喜三郎
- 《選者詠》
- おれだちが日本一だ接種率

短歌 佐藤 知男 選

- 戦争の要らない遺産地雷には 今も恐怖に脅える子供
- 世界中対人地雷取り除き 花を植えたら皆大喜び
- 矢越 加藤 光春
- 豊かなる心を繋ぎサロン会
- 会話に和み時間を楽しむ
- 一世紀生きる夢あり迷いなく
- 老いの暮らしを明るく生きん
- 津谷川 三浦 安幸

- 窓ガラス拭きて見渡す山並に 来る年の顔見えつ隠れつ
- デイサービス窓を彩る虹出でぬ 今日幸まどめるように
- 矢越 小山 富子

雪毛布被って眠る清水棚田
狐よ起こすな供に眠れや
正月の餅を食べれば思い出す
父杵振るい母は相取る

- 津谷川 大森 清水子

- 《選者詠》
- 猫柳凍みし流れに根を浸し 花芽ふくらみ春を告げをり
- 雪の間に顔出す黒き土踏めば 足裏伝ひて春の歓び

俳句 村上 群青 選

- 一天に初日を享けて鳶の舞 紅白に正月祝う実南天
- 津谷川 三浦 安幸

窓からは墨絵の様な雪景色
光る山シユプール描く爽快さ
年賀状書いて想うは友の顔

- 矢越 加藤 光春
- 年賀状友との昔懐かしむ
- 雪景色見渡すかぎり山水画
- 折壁 小山 すす

朗朗と歌会始老い清し
門松や孫子の顔も佳く写り

- 折壁 佐藤 川古
- 《選者詠》
- 初旅のトンネル多しリアス線

「ふれあい」文芸コーナーでは、投稿作品を募集しています。毎月25日が締切りとなっておりますので、郵送もしくは室根市民センターへ直接お持ちください。
選者による添削ののち、選ばれた句が翌号に掲載となります。【例：3/25 締切分→5/1 発行号掲載】
皆さんの投稿をお待ちしております!